

# 令和7年度西日本地域高等専門学校技術職員研修会参加報告

第3技術班 崎村 誠

## 1. 参加目的

高専の技術職員が業務上での課題について討論し、同時に技術課題発表を行うことで職務遂行に必要な知識を習得し、技術職員としての資質の向上を図る。

## 2. 報告

主 催：独立行政法人国立高等専門学校機構

会 場：豊橋技科大学 大会議室他

期 日：8/27（水）～8/29（金）

日程表：

8月27日（水）	8月28日（木）	8月29日（金）
受付 開会式 【特別講演Ⅰ】 「特撮技術で拓く工学研究：アソビを極めてシゴトにする」 【特別講演Ⅱ】 「高エネルギー粒子分析法を用いた核融合ブランケット材料の基礎研究」 【班別討議】	【講義】 「ロボット工学概論」 【施設見学】  【技術課題の発表及び討議Ⅰ】	【技術課題の発表及び討議Ⅱ】  【技術課題の発表及び討議Ⅲ】  閉会式

## 3. 参加報告

本研修会は西日本地区の高等技術専門学校技術職員を対象に毎年開催されており、技術職員の研修としては規模の大きなものである。本年は機械系が開催された。

特別講演では、講演Ⅰについて、エンジニアには「洞察力」が必須能力という言葉が印象に残り、チョークを用いた実習と特撮技術を題材の内容に思わず心が踊るような時間を過ごさせて頂いた。そして講演の全てに共通して、未知の世界を知る良い機会となった。

班別討議では、自己紹介のイベントの後に、参加者を大きく2グループに分け、2テーマの討議を行った。私が属するグループは「今と昔の技術職員を取り巻く環境の比較」を題として討論を行い、参加者と意見を出し合い大変有意義な時間であった。また班内の役割決めでは司会を務め、経験を積むことができた。

施設見学では、まず豊橋技科大学技術職員 安土様より安全講習会をオンラインで実施されている事例と個別の機器取扱講習会等取り組みの紹介があり、その後に施設見学となり実験実習工場とロボコン同好会活動を見学させて頂いた。工場では設備見学はもちろんのこと、機械操作も可能ということで希望し体験することもできた。

技術課題の発表では「研究支援事例と研修の紹介」の発表を行い、試験片の固定に関する治具選択についての助言を頂くことができた。参加者の多岐に渡る支援業務に関する発表を聞き、技術習得後の活用について参考となる発表もあり、大変有意義な時間であった。

#### 4. おわりに

研修会の感じたこと、ご多忙の中で資質向上をされている技術職員の方々から受け取った熱量を受け、更なる技術の習得や知識を向上させ、本校の教育と研究を支援していきたい。